

第24回

大迫さき酒まつり

5月31日(金)、午後6時

大迫地域の南部杜氏が造り上げた日本酒の飲み比べが楽しめる「大迫さき酒まつり」。景品がもらえる利き酒コーナーや、歌謡ショーのアトラクションもあります。

- 会場 大迫ふるさとセンター
- 入場料 前売り券 2,000円
当日券 2,200円
- 内容 「第94回南部杜氏自醸清酒鑑評会」上位入賞酒など約100点の試飲コーナー、利き当てコーナー、歌謡ショーなど
- 問い合わせ 大迫さき酒まつり実行委員会(大迫総合支所産業係内 ☎48-2111内線163)

第33回

南部杜氏の里まつり

6月1日(土)、午後6時

日本三大杜氏の一つ「南部杜氏」の酒造りの技と心が堪能できる「南部杜氏の里まつり」。名杜氏の逸品を味わってみませんか。

- 会場 ビバハウスいしどりや
- 入場料 2,000円(入場券は、当日会場でも販売します)
- 内容 「第94回南部杜氏自醸清酒鑑評会」上位入賞酒などの出品酒161本の飲み比べ、酒の肴コーナー、酒屋唄披露、抽選会など
- 問い合わせ 南部杜氏の里まつり実行委員会(石鳥谷総合支所産業係内 ☎45-2111内線236)



酒屋唄披露の様子(写真は昨年の開催)



市政懇談会を開催しました

本年度の事業を説明

市は、市民の皆さんと行政がお互いを理解し、協力し合って進める協働のまちづくりを目指しています。その実現のための取り組みの一つが、4月15日から19日まで、市内27会場で開催した市政懇談会です。

市政懇談会は、春と秋の年2回開催します。ことしの春季市政懇談会では、平成25年度の市の予算や主要な事業について、スライドを使って詳しく説明。昨年に比べ、女性の参加者が増え、より活発な質問や意見が出されました。

皆さんからの質問や意見などの内容とそれに対する市の回答は、5月下旬から、各振興センターや市ホームページでご覧になれます。

皆さんの声で地域課題を解決

秋季の市政懇談会では、各地域から出された地域課題の解決に向



けた懇談を行うほか、市民の皆さんから市政に対する意見や提言をお聴きします。開催は10月の予定です。

ぜひ、市政懇談会に参加して、皆さんの声をお聴かせください。

【問い合わせ】
本庁市民協働参画課
(☎24・2111内線420)

賢治まゆみ
まちづくり

第14回

「賢治メルヘンの街・花巻ガイドブック」スライドショーが完成

この小冊子を手にした賢治の時代にタイムスリップして、花巻の街に賢治メルヘンの舞台を探ってみましょう。冒頭にこう記される「賢治メルヘンの街・花巻ガイドブック」は、花巻商工会議所の賢治・星めぐりの街づくり推進協議会が平成24年に作成。街なかの賢治童話の舞台を紹介する冊子です。市内には、賢治作品の発想の原点となった場所が数多くあります。この冊子では、それらを当時の貴重な街の写真や、作品中に賢治がどう描いたのかなど、独自の解釈も交えながら分かりやすく説明しています。

このほど、このガイドブックのスライドショーが完成。資料なども追加され、ナレ



スライドの中には、賢治が生まれ育ち、学び、働き、多くの人たちと触れ合った街が詰まっています

ションと音楽が賢治と花巻との深い関わりを伝えてくれます。今後、市民が参加する各種イベントや学校教材、観光案内所での放映など、さまざまな用途での活用が期待されます。

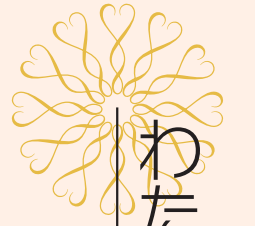
完成したスライドショーは、「賢治・星めぐりの街づくり推進事業報告会」で披露されます。一般の方も参加できますが、席に限りがありますので、ご希望の方は花巻商工会議所へ申し込みください。

●日時 5月28日(火)、午後5時～6時30分

●会場 ホテルグランシェール花巻

●問い合わせ・申し込み 花巻商工会議所(☎23・3381)

【問い合わせ】
本庁賢治まちづくり課
(☎24・2111内線365)



わたしたちの地域づくり

世代間交流とつるし雛で地域を活性化

八日市地区コミュニティ会議では、「山川のやさしさに包まれて福祉と文化が栄える里『八日市』を将来像とし、各種地域活性化事業に取り組んでいます。

毎年8月には、世代間交流事業として、盆踊り大会で使用する灯籠を、約80人が参加して作製します。思い思いに作った灯籠に明かりがともされる盆踊り大会は、季節を感じるイベントとして、地域の皆さんに親しまれています。

また、2月から3月にかけて、地元的女性グループが一針一針丁寧に仕上げた、多彩なつるし雛やつるし飾りなどを展示する「八日市つるし雛まつり」を開催しています。

桃の節句にあわせて行うこのまつりは、1万点を超える



華やかに開催された「八日市つるし雛まつり」

【問い合わせ】八日市地区「コミュニティ会議」(☎45・4840)

色とりどりの飾りを所狭しと展示。毎年工夫を凝らし、年々華やかさを増しています。ことしは、県内外から過去最多の1万2827人が来場。手芸体験コーナーも、連日にぎわいを見せていました。

「つるし雛といえば八日市」と広く知られるようになり、地域の活性化につながっています。

●八日市地区「コミュニティ会議」